

開催内容（詳細）

- I. 会場 【1】 秋田市にぎわい交流館 AU 1～3階（約1,000㎡使用）
- ① 2022 伝統工芸ふれあい広場・秋田 TEWAZA LIVE（仮称）
 - ② 2022 全国くらしの工芸展・秋田 CRAFT MARKET（仮称）
- 【2】 秋田アトリオン 2階美術展示ホール（約650㎡使用）
- ③ 第24回日本伝統工芸士会作品展

※①②は下記の区割りを検討していますが、詳細についてはご提案ください。

フロア	部屋	主な用途案
4階	研修室1～6、和室1～3	控室、ストック置き場等
3階	多目的ホール、ホワイエ、パフォーマンス工房等	伝統工芸ふれあい広場 TEWAZA LIVE (製作実演・製作体験)
2階	展示ホール	全国くらしの工芸展 CRAFT MARKET
	アート工房、アートギャラリー	伝統工芸ふれあい広場 TEWAZA LIVE (製作実演・製作体験、それ以外の展示)
1階	オープンスペース、ステージ等	伝統工芸ふれあい広場 TEWAZA LIVE (製作実演・製作体験以外の展示)

※過去の実施の状況は大会 HP (<http://kougei-expo.com/>) をご参照ください。

II. 会場構成

【1】 2022 伝統工芸ふれあい広場・秋田 TEWAZA LIVE

(秋田市にぎわい交流館 AU 3階および1階・2階の一部 約650㎡を予定)

① ◆伝統的工芸品の製作体験指導／10工芸品（数は予定、工芸品は調整中）

来場者が伝統的工芸品の製作を体験できるコーナー

- ・ 小間の標準型は、1工芸品あたり机3台と体験者用イス6脚及び講師用イス2脚及び商品を展示する台で構成します。紙漉きや機織りなどのように別の専用機材を活用する場合はこの限りではありませんが、本見積書の作成につきましては、記載項目に沿って算出してください。
- ・ 給排水を利用する場合がありますので、シンクの設置（2ヶ所程度）を予め図面に記載してください。

◆伝統的工芸品の製作実演／12芸品（予定、工芸品は調整中）

来場者に伝統的工芸品製作工程の一部を披露するコーナー

- ・ 小間の標準形は、原則として畳敷き（高さ45cm・畳2畳分）と机による展示台。

ただし、工芸品によっては床（パンチカーペット敷き）養生のみで机等を使用しない場合もありますが、本見積書の作成につきましては、記載項目に沿って算出してください。

- ・ 机タイプの場合は、各小間に完成見本を展示する台、作業机 1 台と実演者及び助手用イス計 2 脚で構成します。
- ・ 実演者と見学者の「密」をさけるため、作業中の手元をモニターに投影することを検討しています。

* 製作体験と実演をバランス良く回遊できるような小間の配置、設営案等をご提案下さい。

② 特別展示コーナー／各 1 ブースを予定

イ) 「繭から生糸まで」 蚕の繭から生糸ができるまでの工程を展示紹介。

ロ) 「漆ができるまで」 漆の樹液採取から漆が出来上がるまでの工程等を展示紹介

* いずれも説明用モニター・DVD プレーヤー（設置台）、説明パネル（B2 サイズ 3 枚）。

* 展示小間の配置、設営案等をご提案下さい。標準形の小間サイズは見積書様式に記載してあります。

③ 三井ゴールデン匠賞展示

表示用のパネルを作成してください。（展示備品等は不要）

④ 都府県 PR / 伝統的工芸品 PR コーナー

イ) 都府県 PR コーナー（別紙参照：ポスター、パネル等で都府県観光情報等を紹介）

- ・ 35 都府県を予定。
- ・ パンフレットを用意しますので、設置台なども含めご提案ください。

ロ) 伝統的工芸品紹介コーナー

- ・ 国指定の伝統的工芸品 237 品目を写真パネル等で紹介
- ・ サイズ・仕様は掲示場所に応じて自由ですので、ご提案ください。
- ・ 素材となる工芸品写真原稿等は提供します。

ハ) 次年度開催地紹介コーナー

⑤ 伝統工芸ステージ（場所・スペースは未定）

- ・ 現状は、邦楽器演奏を予定しています。
- ・ ステージの場所は別施設になる可能性がございます。秋田県のステージプログラムとのスケ

ジュール配分等について秋田県/県委託業者と調整していただきます。

- ・ その他のイベント企画があれば、「⑦その他 特別提案」にてご提案ください。

⑥ サイン関係等

会場内催事タイトル看板 開催趣旨、主催者、後援名など掲載。

※外国語（英語またはローマ字）表記を行うこと（工芸品名等のタイトルのみ）

⑦ その他 特別提案について

開催会場の特性等を活かし、以下の目的を参考に特別提案を提示してください。

- ・ 全国各地から様々な工芸品が集結する本催事の特徴を活かした取り組みを展開し、将来に向けた新たなチャンスを生み出していくことを目指します。
- ・ 大会終了後も産地活性の取組みが継続することを目指します。
- ・ 大会を契機に業種や分野を超えて新たな交流が生まれることを目指します。
- ・ 来場者にとっては、伝統的工芸品をより好きになっていただき、これを機に自身の生活に取り入れてみようと思っただけの契機となるようなイベントとします（生活に工芸品を上手く取り入れたシーンを演出した空間の提案を歓迎。スタイリストの起用も視野に入れる）。
- ・ コロナ禍の状況を鑑み、会場の様子をインターネットで配信するなど、リモートでイベントを楽しめる企画を歓迎します。

※特別提案については、すべてまたは一部を実施しない場合があります。

【2】 全国くらしの工芸展 CRAFT MARKET（約 350 m²を予定） 展示・販売コーナー

（40 工芸品 60 小間を予定）

伝統的工芸品を業種・品目別に展示し、販売します。レジは必要ありません。

- 1 小間の大きさ=W1800×D900×H0~750（高さは工芸品により変更）
- 展示台の高さは、企画のなかで自由に変更して構いません。
- 展示台天板の仕様も記載してください。
- 展示台高さが 750 mmのタイプは原則として対面販売とし、展示台内側に販売員用スペース 900 mm程度を確保。別の小間と後ろ合わせになる場合は間仕切りを設置してください。また、高さ 250 mm以下の展示台は、原則としてバックパネル付としてください。
- 高さ 750 mmタイプの展示台の下は空洞として在庫品等収納可能としてください。その場合、目隠しに必要な備品は追加してください。
- ご自宅で工芸品の製作体験を楽しめる「製作体験キット」販売コーナーの設置を検

討中です。

- 会場内で、出展者が地元企業等と商談を行う可能性があります。商談可能なスペースおよび机・椅子を用意してください。

③第24回日本伝統工芸士会作品展（約650㎡を使用）

イ) 作品展示コーナー（250点の出品を予定）

経済産業大臣指定伝統的工芸品の優秀な技術者（職人）である伝統工芸士が精魂込めて制作した新作品を展示し、併せてコンクールを実施します。なお、コンクール審査に関する企画提案の必要はありません。

- ・原則として展示台の下は空洞として在庫品等収納可能としてください。その場合の目隠しに必要な備品は追加してください。
- ・空き箱、梱包材等を収納する倉庫を2～3ヶ所設置してください。

※全会場共通事項として、通路幅を広くとる、各ブース内のスペースにゆとりをもたせる、出展者と来場者の距離を確保する等、新型コロナウイルスの感染防止対策を徹底した提案としてください。

※いただいたご提案については、すべてまたは一部を実施しない場合があります。

III. WEB サイト

【1】 コンテンツ制作

専用WEBサイト (<https://kougei-expo.com/>) 内に準備予定の KOUGEI EXPO IN AKITA 特設ページに、下記イベント告知ページを制作していただきます。

- ①2022 伝統工芸ふれあい広場・秋田 TEWAZA LIVE（仮称）
- ②2022 全国くらしの工芸展・秋田 CRAFT MARKET（仮称）
- ③第24回日本伝統工芸士会作品展

- TOP ページの更新、特設ページの構築（ディレクトリの作成、全体構築、デザイン等）は他社にて行います。本件委託業者様には上記該当ページを主に制作いただきますが、関係事業者と相互に連携いただくようお願いします。
- 前回類似ページ：<https://kougei-expo.com/38/crafts>
- コンテンツに必要な画像素材等は当協会よりご提供も可能です

【2】 SNS を用いた告知

KOUGEI-EXPO 公式「Facebook」および「Instagram」を運用管理し、催事の周知・来場を促進する。

- 開催の1月ほど前からそれぞれ30回程度の更新を想定しています（記事内容、画像素材等は協会様からのご提供も可能）。会期中は会場からイベントの様子を毎日複

数回発信いただきます（掲載画像は会場にて撮影いただきます）。

- 来場者による SNS 拡散を促す案内板（#ハッシュタグ含む）の作成をお願いします。

IV. 来場者アンケート作成・回収・集計

【1】 アンケートツール作成

来場者の感想等を次回催事に役立てるため、アンケートを会場で実施します。

- 内容作成（設問・回答選択肢は当協会より提案し、ご相談のうえ決定）をお願いします
- 非接触型の回答方法を導入してください（前回例：Google フォームにて作成→来場者が QR コードから回答）。
- 回答を促す案内板の作成をお願いします。

【2】 来場者への声掛け

案内板の設置に加え、来場者へ直接声かけを行い、より多く（目標：1,000 件）の回答収集に努めてください（前回例：担当者が Ipad を用い、来場者の回答に合わせて操作）。

【3】 集計

会期終了後、収集した回答を集計。

V. 運営補助業務（補助人員 40 名）

①2022 伝統工芸ふれあい広場・秋田 TEWAZA LIVE 担当

- ・体験の準備、参加希望者の受付（体験参加費の受け取り、参加人数の記録など）
- ・体験コーナー内の整備
- ・体験出展者毎に 1 名、実演 2 出展者毎に 1 名を想定（16 名）

② 全国くらしの工芸展 CRAFT MARKET 担当（展示品の監視及び販売補助）

- ・自分の持場を常に巡回し、盗難がないか購入希望のお客様がいないか注意を払うこと。
- ・出展者（産地から出張してきている担当者）の補助。
- ・全体想定人数（10 名）

※販売は出展者が行う。

③ 受付及び場内誘導・ふれあい広場・くらしのアテンド控室等担当

- ・来場者への総合案内（質問への対応、パンフレット手渡し等）、場内放送
- ・来場者アンケートの対応
- ・ふれあい広場・くらしの工芸展のお弁当配布（休憩室にてお弁当引き換え）
- ・想定人数 8 名

④ 繭から生糸まで・漆ができるまで・都府県紹介コーナー等

- ・繭から生糸まで・漆ができるまで のアテンドの方が休憩中に展示品の管理
- ・都府県紹介コーナーのパンフレットの補充
- ・その他展示・ステージに関する管理・案内

・想定人数 6 名

VI. 入 場 料 無料（来場者数想定 3 日間 延べ 10 万人）

VII. 設営・撤去等

【1】秋田市にぎわい交流館 AU

設 営 日：11 月 15 日（火）～16 日（水） 9：00～24：00

展 示 陳 列：11 月 17 日（木） 9：00～17：00（出展者が行う）

搬 出 日：11 月 20 日（日） 16：00～18：00（出展者が行う）

撤 去 日：11 月 20 日（日） 16：00～24：00（搬出優先）

【2】秋田アトリオン

設 営 日：11 月 15 日（火）～16 日（水） 9：00～24：00

展 示 陳 列：11 月 17 日（木） 8：00～17：00（出展者が行う）

搬 出 日：11 月 20 日（日） 16：00～18：00（出展者が行う）

撤 去 日：11 月 20 日（日） 16：00～24：00（搬出優先）

VIII. その他

上記のほか、スタッフ名札や運営マニュアル等、仕様書の記載項目を全てお見積りください。